



め ば え

令和7年 6月30日 第4号

園長の HUG KUMI メッセージ



6月に梅雨空け……。7月の中旬までは雨模様というイメージのある梅雨ですが、あまりに早いと、貯水は大丈夫か、一気に台風が来ないかと気になることがたくさんです。しかし、子どもたちの好奇心でいっぱいの遊びは、天候や気温もお構いなし!運動会の経験で遊びこむ楽しさも実感できたのか、興味を持ったことに集中する姿は頼もしささえ感じます。咲き誇っていた紫陽花からひまわりへと移り変わると、熱中症対応で、温度・湿度計から目が離せません。職員もちょっとした子どもの変化に留意しているところです。水遊び等は保育の中で適切に行います。監視員の設置や気温・湿度の関係で、プール遊びはなかなか実施に至らないかもしれません。しかし、泥、砂、絵の具、石鹼といった素材を通した遊びは日陰を作りつつ取り組み、子どもたちの発想を広げたいと考えています。“汗をかく”経験は子どもの体温調節機能のためにとても大事なことです。汗をかき、水分補給する等バランスに十分配慮して遊びを展開いたしますがご家庭でも室温が下がりすぎないように工夫もお願いいたします。

セタウィークでは例年飾り方の工夫や配置を考えています。短冊にはどうぞご家族の願いを込めて保護者の皆様もご持参くださいね。私の短冊も定番となりましたが、「復興」「福幸」そして一番大切にしたい「こどもまんなか社会の実現」と願いを託します。

適切な栄養、睡眠時間等の生活リズムこそが健康の基本になります。皆様も体調に気を付けられてくださいね。



<7月行事予定>

1日(火)～7日(月):セタウィーク

1日(火):もりのいえ日帰り体験

(にじ組希望者)

11日(金):英語あそび(にじ組希望者)

一日保育士体験

(北九州市こども施設企画課)

22日(火)～23日(水):インタビューシップ

23日(水)～29日(火):ひまわり絵画展

24日(木):誕生会

30日(水):Home Coming Day～同窓会～

<お知らせ>

○ひまわり絵画展は、7月23日～
7月29日迄、リバーウォーク 5 階
市民ギャラリーで開催され、
にじ・つき・ほし組が描いた
ひまわりの絵画が飾られます。

<職員キャリアアップの為の研修>

3日(木):第65回 大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)<園長・吉永>

10日(木):障害児保育(キャリアアップ研修)<園長・中村>

19日(土):器楽研修<坂本>

23日(水):第1回 給食献立伝達研修<坂本>

29日(火):食事に関する研修研究会<灰原>

31日(木)～8月1日(金):食育推進研修会<園長・灰原>

*園内研修も積極的に組み入れて実施

つき組

当番活動では、食事の準備や畑の水やりを行っています。
また、引き出しの整理整頓や手洗い・うがいなど
身の回りのことにも積極的に取り組んでいます!

これは、いらない、
こっちは持って帰る



もっと、大きくなーれ!!



がらがら...

ふわふわ組



★ゆったりとした環境の中で、保育者と一緒に様々な感触を味わう。

水・泥・氷・片栗粉や寒天等の感触を全身で味わいながら、子どもたちの声や表情に応え快・不快・冷たい・温かい等様々な感覚の面白さを味わいます。

ゆらゆら組

★保育者や友だちと一緒に夏ならではの遊びを楽しみながら、花や虫などの身近な自然に触れる。

水や片栗粉・小麦粉粘土など 様々な感触を味わったり、身近な自然に触れたりしながら、保育者や友だちと一緒に体や指先を使って遊びます。



きらきら組

★自然を身近に感じながら、開放的な遊びや夏の風物詩に触れて楽しむ。

色水遊びや泥遊びなど、発見や驚きを言葉で伝え合いながら楽しみます。また、絵本や七夕制作を通して七夕や星への興味も広がります。



ほし組

★様々な夏の遊びを全身で楽しむ中で、異年齢の友だちとの関わりを深める。

夏の動植物に興味関心を持ったり、砂・泥・水・泡などの感触を、五感で楽しんだりします。

年上の友だちがしている事・言っている事など、傍で真似をしつつ遊ぼうとしているので、一緒に遊ぶ経験を増やし、関わりを深めていきます。



つき組

★夏の自然を遊びに取り入れる中で、食物への関心を高める。

泥・色水等を通して「どうなるのかな？」

「こんなことが出来た！」など探求心や発見の喜びに共感します。また、夏野菜を収穫し絵を描いたり、調理をして食べたりすることで食べ物の大切さや感謝の気持ち、栄養についても興味・関心が持てるようにします。



にじ組

★夏ならではの体験を通して観察したり調べたり工夫したりし、生活や遊びに取り入れる。

運動会を経験したことで自信を持って取り組もうとする姿が増えてきています。

水遊びや虫・収穫など夏ならではの自然に触れて発見を友だちと共有したり、グループで話し合う経験を重ねたりします。

